

# ご存じですか！文化財

93

## 「北川辺排水機場にある

## 記念碑とモニュメント」



問合せ  
生涯学習課  
(☎0480・62・1223)



北川辺排水機場に隣接する広場には、4つの記念碑と二つのモニュメントがあります。

もっとも古い記念碑は、大正13年の北川辺領耕地整理碑で、題字には時の農商務大臣高橋是清の「福祉無窮」が刻まれ、続いて斎藤守圀埼玉県知事の手になる1,300字にも及ぶ長い主文が刻まれています。

主文には、明治43年の大水害をきっかけに、水害と慢性的な湛水に苦しむ北川辺の先人たちが、互いの利害を超えて力を合わせ、耕地整理と排水機場の設置に取り組み、大正13年関東大震災による災禍を乗り越

えて事業の完成に至ったことが、克明に記されています。また、台座の上に据えられた大きなモニュメントは、排水機場で平成9年まで実際に稼働していたエンジン駆動ポンプ一基です。四百馬力のエンジンと口径1,200ミリのポンプは、毎秒2.8tの雨水を渡良瀬川に排出していました。

排水機場は、輪中地帯である北川辺にとつて、住民の暮らしと安全を支える重要な施設です。これらの記念碑とモニュメントは、先人たちの水との闘いの歴史を後世に伝える貴重な文化財といえるでしょう。



北川辺排水機場にあるモニュメント

紹介者 山崎 繁雄さん(駒場)